

鹿児島県立 徳之島高等学校

団体の紹介・活動の目的

本校は、令和3年度で創立16年目を迎えた学校であり、敬愛・向学・共生を校訓としています。設置学科は2つあります。まず普通科では、普通教科の学習を中心に深め、2年次に文系・理系に分かれます。次に総合学科では、2年次に情報ビジネス系列・生物生産系列・生活科学系列に分かれ、各系列の専門分野を中心に深めます。学校行事や部活動、地域連携などにも積極的に取り組んでおり、文武両道を目指し日々精進しています。

徳之島は近年総人口の減少が加速化しており、地域の持続可能性の維持が課題となっています。そこで、地域の魅力や資源を見直すことで、新たな価値を創出し、U・Iターンへ繋がられるのではないかと考えました。

島内高校と地域が協働して、島の未来を切り拓く為に必要な諸能力を生徒に育むためのカリキュラム及びシステムを構築し、地域課題解決の探究的な学びを通して、徳之島の将来を担う人材を育成することを目的としています。

活動の内容

徳之島三町による特別講座「知徳(しとく)」や島内の専門家による座談会「ソクラテスマーティング」により、徳之島の魅力や課題について理解を深めています。

徳高ラボでは自然・観光・農業・文化・情報・教育・医療の7分野に分かれ、各テーマ別にグループを結成し、探究活動に取り組んでいます。この活動では、講師から助言を頂いたり、生徒が事業所を訪問したりするなど、地域との連携を大切に、情報収集や実験・検証等を行っています。

最終的に、探究活動発表会において研究成果を発信することで、学びを地域へ還元しています。

連携・協力している団体など

徳之島三町(天城町・伊仙町・徳之島町)の役場、地域おこし協力隊、物産館、飲食店、医療施設、徳之島観光連盟、徳之島町保健センター、みらい創りラボいのかわ、モスク・クリエイション など



【「知徳」と「ソクラテスマーティング」】

「知徳」では徳之島の魅力や課題について知ることができました。「ソクラテスマーティング」では専門家との対談を通して各テーマの分野について理解を深めることができました。



【牛の繁殖障害解決へ向けた取組】

徳之島町農林水産課と地元の畜産農家と連携し、繁殖障害解決に向けてお灸に取り組んでいる様子。その他飼料の工夫などにも取り組みました。



【観光ワークショップでの旅行プラン作成】

徳之島観光連盟主催の全3回のワークショップに参加し、観光の有識者の方々との交流を深めました。3回目はモニターツアーを行い、最終日に参加生徒がプラン発表をする予定です。



【古民家改修によるゲストハウス作成の取組】

みらい創りラボいのかわと協力し、古民家改修のアイデア出しと改修作業に取り組みました。料金設定やサービスなど実用面についても多くの学びを得ることができました。